

# コンタクトレンズ、眼鏡処方を希望される患者様へ

御来院頂きありがとうございます。

当院では初めて（久しぶりに）コンタクトレンズあるいは眼鏡を処方する場合、以下の手順での処方をお勧めしています。

## 1日目

- ①屈折検査（近視、遠視、乱視の度数測定）、視力検査
- ②散瞳薬の点眼（視界がぼやけて見辛くなります）
- ③屈折検査、眼底検査



## 2日目

- ④コンタクトレンズ、眼鏡処方

散瞳薬を点眼してから屈折検査を行うことで調節力が取れ、より正確な屈折度数が得られます。未散瞳での屈折検査のみでは正確な度数が得られず、過矯正となり眼精疲労、肩こり、頭痛の原因となります。

若年者は調節力が強いため、必ず散瞳薬を使用した検査が必要です。

成人でも近年スマートフォンやパソコンなどの近見作業の増加により見かけ上近視が増加していることが多いです。（最近コンタクトや眼鏡の度が進んだ感じはないですか？）また眼底検査により、網膜剥離等の眼病が発見されることもあります。

散瞳薬点眼によりぼやけて見辛くなります。個人差はありますが元に戻るのに4時間程度かかり、運転や小さい字を見ることが難しくなります。

1日で処方できないためご不便をおかけしますが、ご自身の目の健康のため上記検査のお勧めいたします。

ただご都合で上記検査をせず、当日処方することが可能な場合もございますのでご相談ください。よろしくお願ひ致します。